



リンパ系腫瘍に対する新規治療法の開発

講師: 塚崎 邦弘 氏 (国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科 科長)

Lecturer: Dr. Kunihiro Tsukasaki (National Cancer Center Hospital East)

日時: 平成 25 年 10 月 16 日 (水) 17:30~

Date: Oct. 16th (WED), 2013 from 17:30.

場所: 医学教育図書棟 3 階 第 2 講義室

Place: Lecture Room 2, Medical Education & Library Building 3F.

リンパ系腫瘍に対する標準治療は、その病態解明に基づく WHO 分類の改訂、さらには分子標的療法薬などの新薬と造血幹細胞移植療法の進歩とともに、近年大きく変わりつつあります。その早期から後期に至る臨床開発のため、臨床医による多施設共同研究の重要性はさらに増えています。今回は、リンパ系腫瘍の中でも難治性であり、また希少疾患である成人 T 細胞白血病・リンパ腫 (ATL) を取り上げ、Japan Clinical Oncology Group のリンパ腫グループによる 1980 年代からの継続的な臨床試験、日本発の抗体医薬である抗 CCR4 抗体の Mogamulizumab の企業治験開発、新たな先進医療 B 制度により保険適用外の薬剤を用いた臨床試験を紹介します。当院では、first in human の薬剤を用いた医師主導の臨床試験 (治験以外も含む) を実施/立案中であり、希少な ATL に対しても、有望な治療法の開発につなげようと試みています。

担当: エイズ学Ⅲ / 岡田誠治 教授

Inviter: AIDS Research Ⅲ / Prof. Seiji Okada

e-mail: okadas@kumamoto-u.ac.jp

医学教務: iyq-igaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

【共催】がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

